

WORLD OCEAN PLASTIC PLANNING CENTER

2026年OPEN予定!

海と大地のフィールドミュージアム!

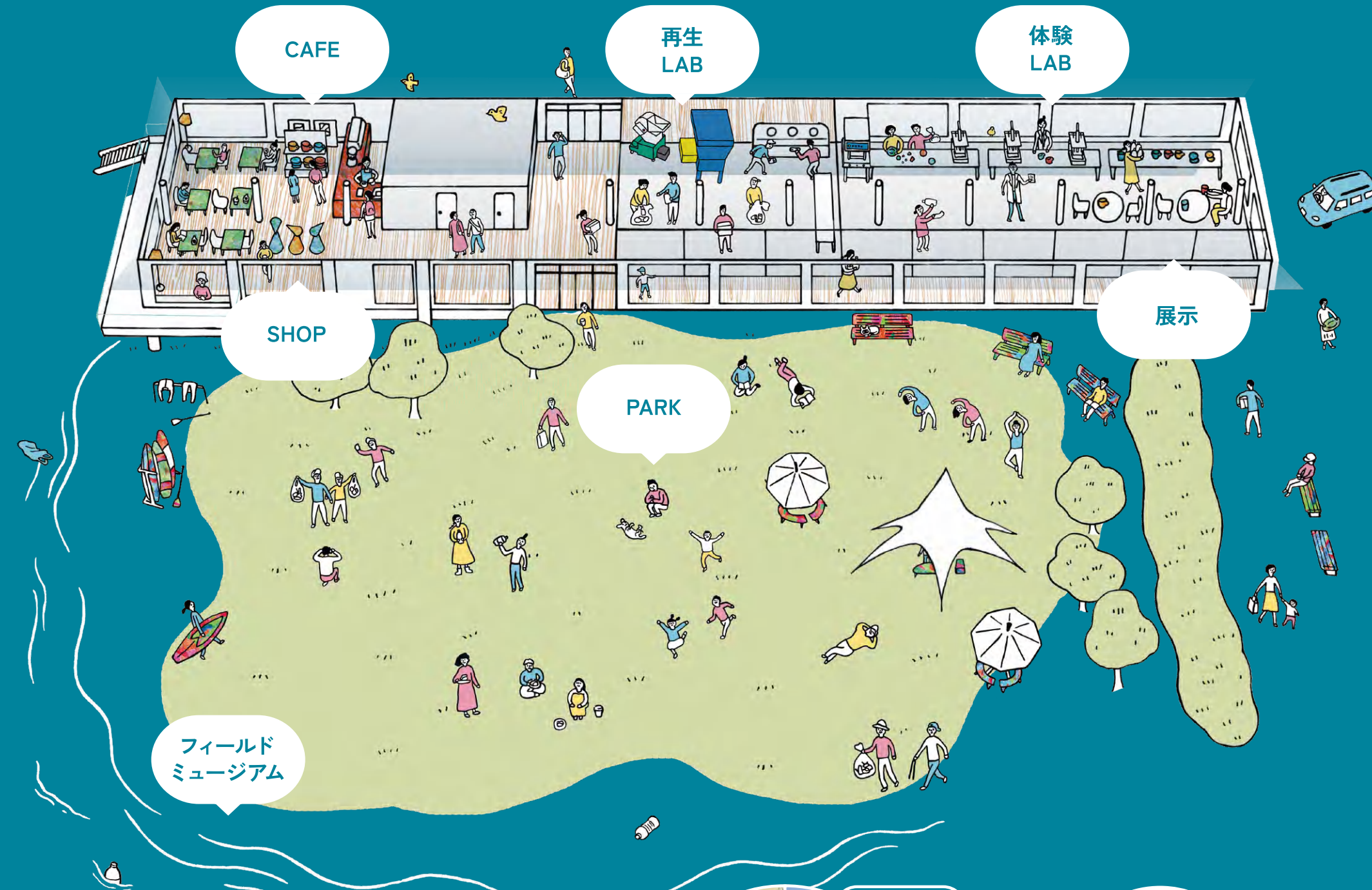
世界海洋プラスチック プランニングセンター

世界の海洋プラスチック問題の解決を目指し
考え行動する(プランニングする)拠点。
「プラプラ」の愛称で呼んでください。

玄海灘を舞台に回収から再生、体験などを通して、海洋プラスチックの問題について学ぶことができるセンターが2026年夏(予定)誕生します。計画される波戸岬海浜公園内に、築約50年の既存休憩所を再生したカフェ・ショップと、県産木材を活用した木造の体験と再生のラボを整備。海洋プラスチックを再生したアップサイクル建材による印象的な屋根や外壁が特徴です。県内の公共施設として初めての『ZEB』(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)建築を目指します。ここに人が集い、体験し、考え、未来の暮らしのヒントを知る。一人ひとりが“できること”からはじめましょう。



- ①外観:玄海灘と鳥々を見渡す海浜公園内に建つセンター。
- ②カフェ:海洋プラスチックを再生させた空間です。
- ③:半屋内のアプローチ。海洋プラスチックを再生したパネルの屋根が特徴的。



地域の取組紹介

有明海と玄海灘の2つの海に面し、山や川が暮らしの身近にある佐賀。「森川海はひとつ」という思いを人が未来へつなぐ」という理念のもと、「森川海人プロジェクト」がスタート。環境を体験し学ぶ機会や森川海で活動する個人・団体のネットワークをつくり、これまでビーチクリーンや海洋ごみ回収箱の設置など地域の人々と共に取り組んでいます。



環境教育

森川海はひとつ!
海洋環境国際シンポジウム
[みんなの海 国際会議]

ビーチ
クリーンアップ



1
回収・フィールド
ワーク

ビーチクリーンを行い、海岸の海ごみを回収します。



2
分別・原料化

海ごみを分別し、硬質プラスチックを機械で粉砕して原料化します。



3
再生・デザイン

原料化したプラスチックをプロダクトや燃料ペレットに再生させます。

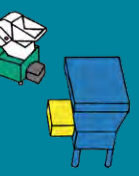


4
体験・展示

海洋環境や海洋プラスチック問題に関して学ぶことができます。

海洋プラスチック回収再生

ボランティアや漁業者、企業との連携や、学校の体験学習や拾い箱から海洋プラスチックを回収。民間企業の再生技術によりアップサイクルして新たな価値を創造します。



教育・展示・研究

ラボでは、海洋プラスチックが資源化されるプロセスを実際に見学できます。パネルや映像資料などの展示や、大学や企業等との連携によって海洋プラスチック研究の最新情報を発信します。



地域とつながるCAFE

海洋プラスチックをアップサイクルした商品や、地元の素材にこだわった飲食を提供します。地域の人も来訪者も集いつながる公民館のような場所を目指します。



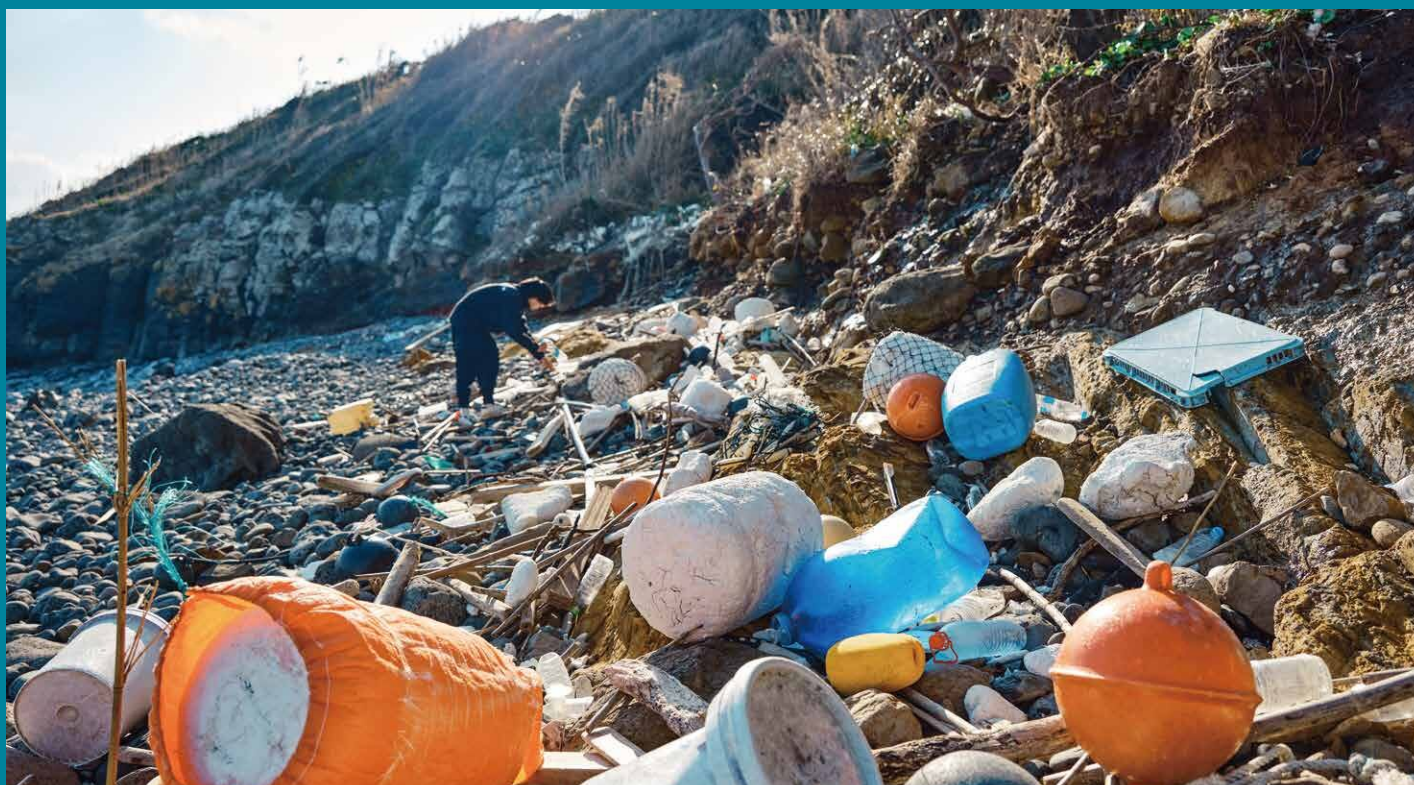
国際発信

唐津玄海エリアの海洋プラスチック問題や佐賀県の取組を世界に向けて発信し、国内外の関係者とのつながりを深めることで、持続可能な未来への協力を促します。



佐賀の岬から世界の海を取り戻そう。

安価で耐久性に優れ、現代社会になくてはならない素材となっているプラスチック。それらは私たちの生活を支えています。適正に処理されないことで「海洋プラスチック」という、新たな問題を生み出しました。佐賀県は海洋漂着物が大量に流れ着く九州北部の中心に位置します。大陸との玄関口であったこの地で、海洋プラスチックの問題を抱える多くの国や地域とネットワークを構築し、新たな潮流を生み出します。自然と人のつながりを見つめ直す「森川海人」プロジェクトを進めてきた佐賀県だからこそできる取り組みです。佐賀から、SDGsの実現に寄与し、未来の海へつながるビジョンを描いていきます。



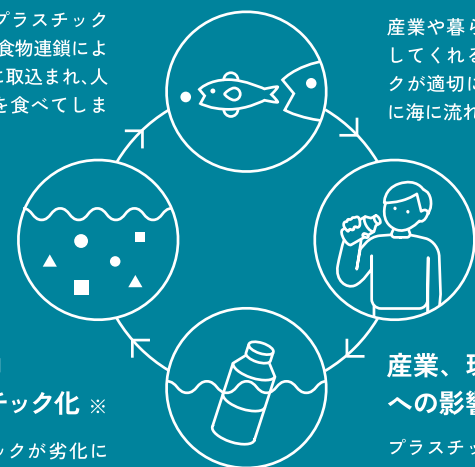
海流と九州北部の状況



海洋プラスチック問題とは

生態系への影響

小魚やプランクトンがマイクロプラスチックを摂取し、食物連鎖により生態系に取込まれ、人がその魚を食べてしまいます。



マイクロプラスチック化 ※

プラスチックが劣化によって小さくなり、分解されずに何百年も自然界に存在し続けます。

※5mm以下の微細なプラスチック

プラスチックのある暮らし

産業や暮らしを便利にしてくれるプラスチックが適切に処理されず、海に流れ出ます。

産業、環境への影響

プラスチックが何年も海を漂い、鳥や海亀が食べたり、漁業、観光、沿岸域住環境へ影響を及ぼします。

2026年OPEN予定!

佐賀から世界へ！ 世界海洋プラスチックプランニングセンター プロジェクトの寄附募集

佐賀県では、「人を大切に、世界へ誇れる佐賀づくり」のため推進している様々なプロジェクトの中から、寄附金(ふるさと納税・企業版ふるさと納税等)の使い道をお選びいただける『プロジェクト応援寄附』を設けています。



[寄附はこちら]



[センター概要]



佐賀県 県民環境部 脱炭素社会推進課 〒640-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59
TEL 0952-25-7079 MAIL datsutansosuishin@pref.saga.lg.jp

2025年7月7日第2版 このリーフレットは再生紙に印刷されています。



WORLD OCEAN PLASTIC PLANNING CENTER

世界海洋プラスチック
プランニングセンター構想
愛称: プラプラ

